

PEARL DRUMS VISION VML JUNGLE GIG KIT

取扱説明書

このたびは、パールドラムスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に、ぜひこの取扱説明書をご覧ください。

バスドラムの組み立て

タムホルダーベースが上になるよう、バスドラムをおき、左右のバスドラムスパーを出します。左右のスパーを最大限にのばし、必要に応じて剣先を出して下さい(図1)。(※剣先を出した場合、床を傷つける場合がありますのでご注意ください。)

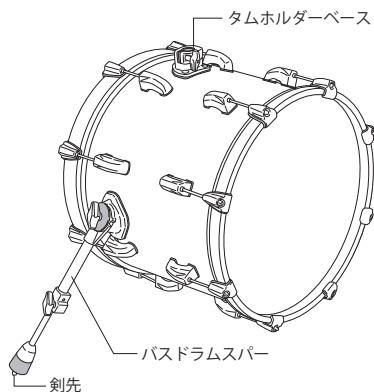


図1

バスドラム用クランプにバスドラム・クランプチューブを差し込み、ウイングボルトで固定します。バスドラム・クランプチューブには回転、ズレ防止のためのリングストッパーがついているので、位置が決まったらロックしましょう。また、リングストッパーを一度固定しておけば、次からのセッティングが大変スムーズになります(図2)。

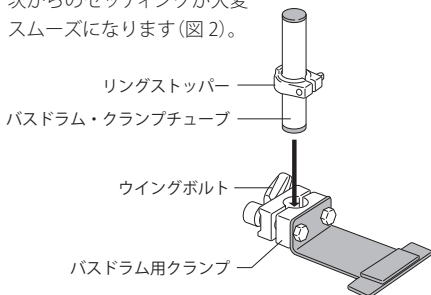


図2

バスドラム下側のブラケットに図2で固定したバスドラム・クランプを差し込み、ウイングボルトで固定します(図3)。

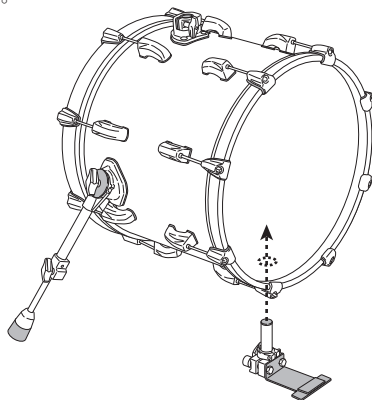


図3

ドラムペダル(別売)のフープクランプにバスドラム用クランプを挟みこみ、ペダルのハンドルボルトで固定します(図4)。

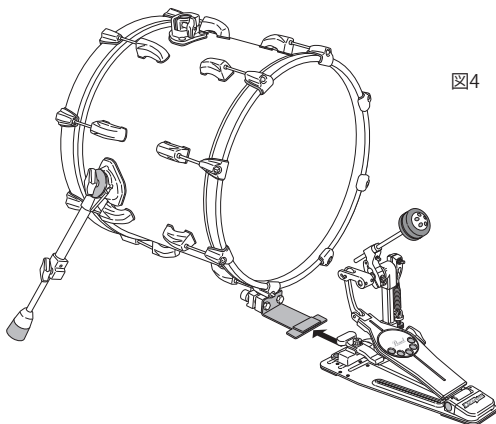


図4

ドラムペダルを取り付けた後、バスドラムが安定するよう、レッグの長さを微調整して下さい(図5)。

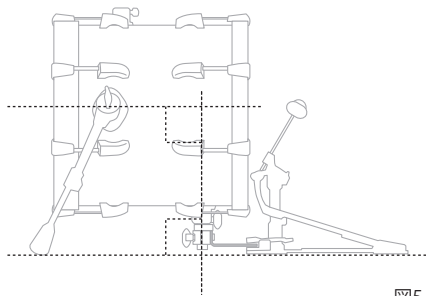


図5

その際、バスドラム・クランプチューブの底面が地面にふれないよう気をつけて下さい(図6)。

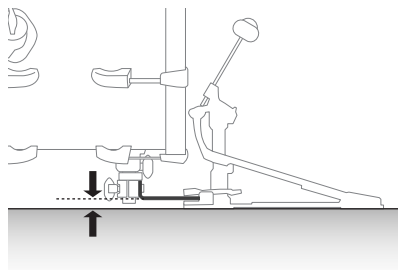


図6

フロアタムのセッティング

フロアタムは、シェル(胴)本体、フープ、ヘッドが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. 打面側を上にしてシェルを床に置き、ヘッドをかぶせ、スチールフープをのせます(図7)。
2. スチールフープにテンションボルトを通し、ラグにネジ込みます(図7)。
3. ボトム側(フロアタムレッグブラケットのついている方)を上にして、打面側と同様、ヘッド、フープをのせ、テンションボルトをスチールフープを通してラグにネジ込みます。
4. フロアタムは付属のフロアタムレッグをレッグブラケットに差し込み、ウイングボルトで固定します(図8)。

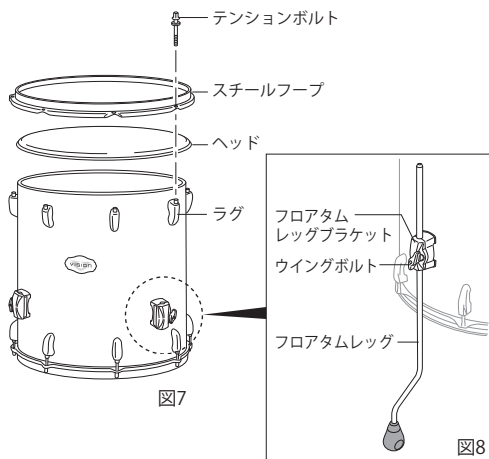


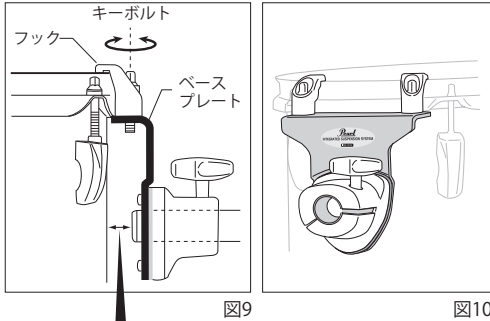
図7

図8

I.S.S. の取り付け

タムタムには、I.S.S. マウンティング・システムが標準装備されています。

I.S.S. 本体フックのキーボルトを緩め、図のようにタムの上部フープにフックを引っ掛けてください。ベースプレートを一フープのエッジの下にはめ、I.S.S. が二つのチューニングロッドの中間に来るように位置を調整し、キーボルトを締めて固定します(図9)。これで、I.S.S. の取り付けは完了です(図10)。



注意
シエルを傷つけるのを避けるために、タムホルダーと、シエルが直接触れないように気を付けてください。

タムタムのセッティング

タムタムを、タムホルダーでバスドラムのタムホルダーベースに取り付けます。タムホルダーには回転、ズレ防止のためのリングストッパーがついているので、タムタムの位置や角度が決まったらロックしましょう。また、リングストッパーを一度固定しておけば、次からのセッティングが大変スムーズになります(図11)。

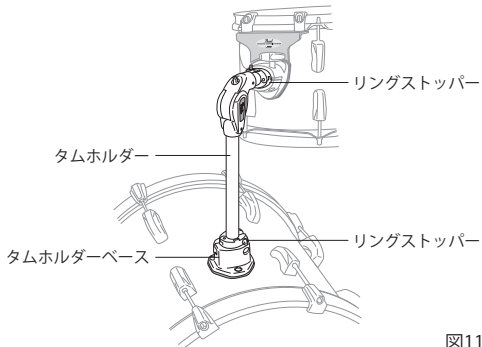
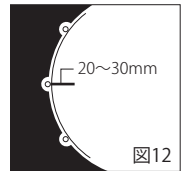
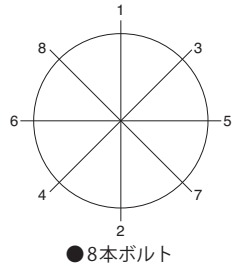
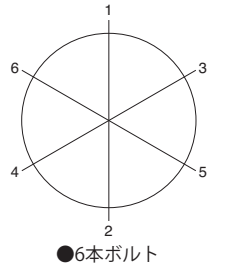


図11

基本的なチューニング

基本的なチューニング(音合わせ)方法を、スネアドラムを例にとり、ご紹介します。まず、対角線上にあるテンションボルトをそれぞれ少しずつ締めながら、全体のピッチを上げていきます。リム(フープ)の近くのヘッド面スティックなどで軽く叩き、音程(ピッチ)がバラついていたら、テンションボルトの締め具合を調節して、ピッチを整えます(図12)。タムタムやバスドラムなどのチューニングも基本的には同じですが、一般的なロックサウンドをつくるには、裏側(ボトム)のヘッドのピッチを打面側(トップ)よりやや高めにしておくとよいでしょう。バスドラムの場合、ミュート(ヘッドの振動を抑えること)をすると音が締まって叩きやすくなったり、フロントヘッドに穴をあけると音のヌケがよくなる場合があります。一般的なミュートとしては、毛布などをバスドラムの中に入れてたりする方法があります。なお、ヘッドの穴あけには、レモ・ホールカットリングをご利用下さい。

新しいヘッドはドラムのエッジによくなじませてからチューニングすることをおすすめします。



チューニングポイント

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090 (テクニカルサポート)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan.

-1203-